

会 議 録

会議の名称	第 13 回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会		
開催日時	令和 5 年 8 月 9 日（水） 開会 18：30 閉会 20：10		
開催場所	つくば市役所 2 階 202 会議室		
事務局（担当課）	教育局 学務課		
出席者	委員	井上拳吾、黒崎徹、谷池真彦、木之内富美代、高橋正典 別府孝泰、松本智加、熊谷みを、関美智子	
	事務局	学務課課長 下田裕久、学務課課長補佐 川又文江 学務課係長 大友博幸、学務課主査 菅原理恵 学務課主任 篠原周平、学務課主事 白土直也	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由			
議題	(1) 制服のワッペン (2) ポロシャツのアンケート結果の公表 (3) 体操服のアンケート結果の公表及び選定		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 制服のワッペン (2) ポロシャツのアンケート結果の公表 (3) 体操服のアンケート結果の公表及び選定 3 その他 4 閉会		

< 審議内容 >

- 1 開会
- 2 議事

事務局：ただいまから第 13 回(仮称)みどりの南小学校、みどりの南中学校開校

準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくようお願いいたします。それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。

委員長：それでは会議の進行をさせていただきます。本日の傍聴者の方はいらっしゃいますか。

事務局：おりません。

委員長：はい。いらっしゃらないので、議事に入りたいと思います。本日の議事は、制服・体操服について、1つ目が制服のワッペン。2つ目が、ポロシャツのアンケート結果。3つ目が体操服の選定についてになります。まず初めに、1つ目の制服のワッペンについて、メーカーさんの方からご説明をいただきたいと思ひます。

トンボ：はい、茨城トンボでございます。よろしくお願いいたします。今回ですね、ワッペンということで、書類の方ですね、各テーブルの方にご用意させていただきました。順に説明させていただきます。まずですね、こちらのワッペンを3枚ご用意させてもらいまして、小さめのワッペンの方から説明させていただければと思ひます。こちらのワッペンは以前、学校様の校章と申しますか、こちらの方を元にですね、デザインの方をさせていただいたものであります。左側の1-1というところは、校章と同じ色の数を使ってワッペンの方を起こしてみました。ちょっとわかりづらいのですが、真ん中のみどりの南というアルファベットのところが白の色になります。全体の下側外枠と申しますか白くなっているところが、一応ライトグレーの色の予定になっております。順に色を使っていきまして、全体で10

色という形のワッペンのデザイン、色ってという形になります。大きさの方はほぼこちらに出ているイラストの方が実寸大の大きさということになります。以前の今、制服についているワッペンのイラストと違うところは、みどりのというところがですね、1行ではちょっと文字がつぶれて入りきらないということで、2行ということで、段でやらさせていただきました。こちら、右側にあるものはですね、同じデザインのものなんですが、色を少し減らして、似たような色をまとめて、イラストの方を起こしてみました。みどりのという文字のところと、背景の白のところは、ライトグレーという色で対応させていただければという形で、まず色を絞ってみました。あと全体の方は同じように色を絞っていきまして8色ということでのデザインということとなっております。あと左と右に下から植物がこう出るところですね、ここの部分もですね、色の方を絞りまして、左側とはちょっと違う色目で、色を絞った形で対応させていただきました。ちなみにですね、こちらの1-1の方の参考価格の方なんですが、こちらが1,460円で販売という価格で試算をさせていただきました。右側の方の1-2の方は、1,430円という金額で試算させていただきました。いずれも消費税は別の金額です。次にですね、こちらの少し大きめのワッペンのイラストの、こちらの用紙の方を説明させていただきます。こちらの少し大きめのワッペンの方はですね、やはり色の方ですね、10色と8色で色の方をちょっと絞った形とですね、アルファベットのみどりの南というところが小さくしてしまうとつぶれてしまうということで、ある程度見える形にして、全体をやり直したところ、これが実寸大の大きさ、このぐらいの大きさで、ワッペンのでき上がりという形になってきました。色の方の展開の方は先ほどと同じで、10色のものと8色のものという形です。こちらの方ですね、参考価格としまして、左側の方が、1,180円。右側の方が、1,120円。それぞれ消費税が別の金額になっております。こちらのそれぞれですね、上

がりの方の目安のイラストなんですけれども、こちら1枚だけですね、こちらの写真イラストですね。こちらの方がですね、一応でき上がりの目安の刺繍ワッペンということになっております。こちらの全体の土台の上ですね、ワッペンを刺繍で縫い付けるような形の仕上がりという形になっております。ワッペンに関しては以上になります。

委員長：ありがとうございました。これって①の1-2と②の1-2でどれか1つに絞るってことですか。ワッペンは付け入るんでしたよね。だけど、ワッペンだけ別に買うことができるようにもなっていると。そういうことだったと思います。それではお伺いしますが、今ついている大きさは、①番の方と考えていいんですか。

トンボ：はい。今ついている大きさほぼ①の大きさのイメージになっております。

委員長：それでは委員の皆様にお伺いしたいと思いますが、ちょっと大きさを考えたいと思います。1と2で、あのタイプがもうちょっと大きくなるか。どうお考えですか。選べるのはこの2種類ですよ。新たに作るってことはない。

トンボ：はい。もう1つちょっと補足なんですけれども、今ついでワッペンの大きさというのは、以前は、大きめのワッペンというイメージがありまして、大きめのを付ける時代もあったんですけども、現状はやはり先ほどついていた少し小さめのっていうので、決まる率が高くなっております。学校さんによっては大きめのをずっと使っていたんですが、それをちょっと小さくしてみようっていう学校さんもありまして、全体としては小さめの方のワッペンの方が、今の目安になっているのかなっていう。はい。

委員長：多数決で決めますか。聞いてみましょう。小さいのがいい人。はい、圧倒的多数で、小さいのということでお作りいただくということになりました。じゃあ色については10色か8色ですが、見た目変わらないんだか

ら8色でもいいんじゃないかっていう意見もありますが、30円しか変わらないから、10色でやろうっていう考え方もあると思います。葉っぱの色とか、背景とリボンがちょっと違うっていう感じですかね。じゃあ聞いてみますか。お伺いします。10色の方で作っていただきたいという人。圧倒的多数で10色の方。ワッペンについては①-1。①-1ということでお願いをすることになりました。続けてよろしいですか。はい。続きまして、2つ目のポロシャツについてです。アンケートの結果を見て、話し合いたいと思うんですけども、配付資料について、事務局さんからのご説明をお願いします。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら資料1の方の説明をさせていただきたいと思います。こちらの方、前の制服のアンケートの時に、質問事項として夏にポロシャツを着用する場合、ポロシャツの色は何色ならいいですかということで、自由回答の上で集計の方をさせていただきました。結果の方は、系統別に集計の方はさせていただきました、白色計が1,158票集まって、1番多数を集めることになりました。1ページから4ページまで、それぞれ制服のプラン1から3を選んだ人の集計になっておりまして、5ページから8ページまでに関しましては、実際に選定されたプラン③の制服を選んだ方のみを抽出した形で、アンケートの結果の方の集計をさせていただきました。資料については以上になります。ポロシャツに関しましては今回、何か決めるというよりも学校の規則づくりの参考となるように協議をお願いできればと思います。

委員長：ここで色を決めちゃうというわけじゃなくて、今ご説明があった通り、学校の規則を作っていく上での参考にするということでお伺いしたいと思うんですけども、夏場にポロシャツを着せるっていうことは、いいですよ。ワイシャツ着ていてもいいけどぺったりして、暑いので、ポロシャツは認めるという方向で、学校の規則づくりを行っていただければと思います。

様々な色がこう出てしまったんですけれども、それをどう、どう考えたらいいかということです。来る前にちょっと調べてきたんですけれども、最初は何でもいいと思ったんですよ。全色OKみたいな。だけど教室の中に様々な色が散らばると落ち着かなくなってしまうお子さんがいる。必ず教室中にそういうお子さんがいるから、全部の色を認めていくよりは、ある程度こう制限した方が、教室の中にいるお子さんがみんな落ち着いて、集中力を持っていて勉強できるんじゃないか。勉強というか、教育活動に取り組めるんじゃないのかなっていうふうになんてちょっと考えが、ここに来る前に変わっちゃったので、何でもありか制限をするかっていうところをこの後聞きたいと思っています。ちなみに青は落ち着いて集中できる色なんですって。赤は短期集中で頑張れる色なんだそうです。どの色にも、何て言うんだらうな、心理的になっていうか数値データ、研究の結果のデータが裏付けとしてあるので、そういったものも参考に決めていくしかないんだらうなっていうふうな考えに私はなりました。はい。どうしたらいいですか、この色たちは。はい、お願いします。

委員：アンケートだと、圧倒的にもう白が多いということなので、まあ白ののかなっていうふうに思っています。

委員長：はい、お願いします。

委員：今、白系っていう話もあったと思うんですけど、体操服の上着が白と紺になるということもあるので、紺系も合わせてもいいのかなと。表の中で上位4つ、白系、青系、紺系または黒系。こういった系統でまとめれば、さほどむらも出ないのかなと。あと体操服との兼ね合いも取れていいんじゃないかなと思います。

委員長：はい。お願いします。

委員：はい。私も同じ意見で、濃紺から白っていうところの、幅を持たせて、おそらくメーカーを合わせなければ、買ったメーカーによって同じ青でも

差が出ると思うので、そこの差は少しフレキシブルにしてもいいのかなと思います。

委員長：はい。お願いします。

事務局：事務局です。今のお話の中で白とその他のカラーを選ばれるっていうのは、いいと思うんですけども、その中で1つ決めなきゃいけないのかなと思うのが、例えば白と青と仮にグレーか何か3色にしたときに、式典だけは白にするのか、式典も全部一緒にするのか、そういうことを考えたほうがいいのかなと。ただ、研学、学森とかも式典は白なんだけど、それ以外は白でも青でもいいですよっていうふうにしたりしてると思うので、その白以外、白も含めてですけど、何色かを選んだ場合には、その辺のことも考えないと今、委員長が言ったように、式典の時には3色選んだ時には3種類とも着ていいのか、やっぱり1色だけにするとかいろんなことがあると思うので、その辺も含めて考えていただいた方がいいのかなと思います。

委員長：そうなんです。学校行事は谷田部南小のものと、それからみどりの学園のものと合わせて決めていくしかないと思っています。まだ明確に学校行事何やるかって決まっていなくて、その中の式典って一体何があるのかなって。4月の入学式、3月の卒業式くらいですよ、式典って。始業式、終業式やるかも決めてないしね。確実にあるのは入学式、卒業式。多分ポロシャツで臨む式はないと思う。ないかもしれません。ですので、多分制服の下のワイシャツになると思いますから、白を着用することに自然になっちゃうし、その際は学校のなんでしょうね、行事の臨み方、規則の部分で定めていけばいいと思うので、ポロシャツについては式に影響することはないのかなっていうふうに現段階では思います。はい。メーカーさんが推奨してるポロシャツの色っていうのはありましたっけ。

トンボ：はい。今までの流れですと白色の方が採用が大分多かったんですけど

ども、近年は紺色の採用が増えてきております。やはり白一色ですと、ちょっと汚れが目立ってきたり、ちょっと色が何年か着てると、というのものあるのと、紺色のメリットは透けないということが近年大きく言われておりまして、紺色というのが今、採用が増えている状態です。はい。

委員長：推奨品みたいのがあるんですね。それにしちゃうのか、量販店で買ってきたものでもいいのか、それはいかがですかね。

委員：そうですね。買う側の親としてはちょっと手軽に買える場所でも、白とか紺とかは多分買えるとは思っているので、そちらも選べるようにしていただけるとありがたいなと思います。他にありますか。全くその何買ってきてもいいよっていうんじゃないかと、推奨品はもうあると。なのでそれに似通ったものを買ってもいいよというふうな方がいいのかなっていう、はい。

委員長：推奨品の色は、白か紺でしたっけ。その他の色はないんですか。

トンボ：ポロシャツの色に関しては他に水色っぽいのかもあつたりもするんですけども、あとピンクとか。でもそれは学校様オリジナルになってくるとちょっと値段の方が高くなってくるので、供給の方が若干スムーズにいかない場合があつたりするかなという不安はあります。はい。

委員長：白、紺に関しては、推奨品をお示しいただき、それを買ってもいいし、自分でその量販店に買いに行けるようでしたら買ってきてもいいですよっていう形。そういう形でちょっと考えさせていただくと、ここで決定できないので考えさせていただくということになります。白系と紺系だけで大丈夫ですか。黒も多いけど。白系、黒、紺系、青系みたいな。そうすると水色もOKですもんね。だから選べないのは、緑とか黄色とかピンク、赤はちょっと難しいけど、白系、もしかしたらアイボリーもあるかもしれません。紺、青で薄い水色もあるかもしれません。真っ黒も、グレーも、黒が薄くなってきたっていうイメージだとグレーもありかもしれませんというふうな位のとらえかたでいいかなって思ってます。いいですかね、それを

参考に学校のお約束を決めていくと。緑がちょっと入らないな。黄色とピンク、赤系はちょっと入らないけどそういった形で運用、約束事を決めていくと、そうすると大分教室の中も落ち着いた感じになりますね。はい。わかりました。それではそれを参考に学校の規則を作っていくということになりますので、ポロシャツについては以上で大丈夫ですかね、事務局さんね。

事務局：事務局です。メーカーさんの方に質問なんですけども、メーカーさんの推奨品に関しましてそれを決めるのはいつまで、注文するのはいつまでにした方がいいとかっていう期日とかってありますか。

トンボ：はい。ポロシャツの件で来年の夏の時期に着用という形にはなると思うんですけども、ちょっと現状ですとですね、先日いただきました冬服関係の方は発注の方はさせてもらいました。そこで一緒にですね、夏服も発注できたという形ではあったんですけども、下のボトムの方を発注させてもらっておりまして、ポロシャツの方も本来その時期に発注しなければいけないものですので、これから発注となるとちょっと上がりの方が、次の暑い夏にはちょっと難しいのかなというのが現状です。はい。

委員長：そうすると、自分で買ってくるっていうことになってそれがもうそのまま進行してしまうので、推奨品は必要なくなってしまいますよね。ということで、推奨品じゃなくて、自分で学校として色をお示しして買ってきていただくという方法しかないかなと思いますけども、はい、ということで推奨品は使わない形になります。

事務局：はい、ありがとうございます。そうしましたら最後にメーカーさんの方から、もしくは委員会の方からメーカーさんに、特に質問等なければ、これで制服の議事は終了とさせていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

トンボ：ではですね、本日いろいろ決めさせていただきましてありがとうございます

いました。はい。1つだけですね、ちょっと説明させていただければと思います。今回ですね、向かって左側男子のボディに男子スタイルで入っております。向かって右側、女子ボディに女子のスタイルでとなっております。ネクタイ、ズボン、リボンとスカート、こちらがですね、新しい学校様の制服ということで、白いワイシャツは各自で買えるところで購入という。学校指定ではないという形だと思います。ズボンに関してなんですけれども、現状女子のスラックスというのが、採用の方が増えてきている学校さんがございます。今回こちらご採用いただいたズボンの方を調べてみたところですね、ズボンの規格がですね、若干男子のよりも少し細目にできておりまして、女子の方も履ける共用のスラックスということでございましたので、もし、新入学の方もしくは学期の途中で、女性の方がズボン欲しいという場合は、こちらのズボンの方のサイズを合わせていただいて、購入して着用していただくことが可能ということでもありますので、そちらの方だけお知らせさせていただければと思います。

事務局：はい、ありがとうございます。委員会側からメーカーさんの方に質問等はいかがでしょうか。

委員長：大丈夫です。

事務局：ありがとうございます。そうしましたらポロシャツの議事の方はこれで終了とさせていただきます。制服と体操服のメーカーの入れ替えになります。本日はお越しいただきありがとうございます。

委員長：続きまして3つ目の議事に入りたいと思います。配付されてる資料について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら3つ目の体操服のアンケートの結果の公表及び選定についてということで、まず資料2の方について説明させていただきたいと思います。こちらの方は体操服のアンケートの結果になっておりまして、みどりの学園と谷田部南小学校でそれぞれ児童生徒と

保護者で分類して、集計の方を行いました。こちらの方からプラン①から③の中で、体操服の選定の方を行っていただければと思います。今回はもう1つですねマークのご提案ということで、体操服メーカーさんの方から資料の方をいただきましたので、こちらの方についても協議の方を行っていただければと思います。説明については以上になります。

委員長：じゃあ結果を参考に体操服を決定していきたいと思いますが、①番が圧倒的多数ですが、やっぱり皆さんのご意見に従って、①番の体操服が、新しい学校の体操服になると思うんですけどもいかがですか。①番ということですね、この一番左、こちらから見て左側のものが圧倒的多数なので、こちらに決定するということになります。ご異議ありますか。では新しい学園ジャージですね、新しい学園ジャージは①番ということになりました。よろしいです。これで、はい。以上です。

事務局：ありがとうございます。続きまして、メーカーさんの方からいただいた資料の方なんですけど、タイプAからDまで入ってるものに関しまして、こちらの方でメーカーさんの方からご説明等はございますでしょうか。

ママダ：そのマークについてはこの資料の方を参考にさせていただけたらというところでご用意いたしました。事務局の方からお伺いしてるところでまず来年度に向けてまず、学園名が決まる前にマークを入れるかどうかというところもちょっと併せてご検討いただけたらとは思いますが。以上です。

委員長：資料のやつだと学園ジャージにはならないですね。みどりの南って入れちゃうと、新しく構成される学園のジャージとしてはちょっと中途半端な感じになってしまいますので、1つの意見としてね、このマークは入れられないと私は思いますがいかがですか。谷田部南小とこの新しい2つの学校が、1つの学園を構成することになって、その学園全部の子が、このジャージを着ることになるから、学校名が入っちゃ駄目なんですよ。ジャージには学園名だけが入らないと。なので、マークはちょっと採用はで

きないなって思います。逆に今学園名が決まっていなから学園名が決まって、そのマークが入っているジャージ、長袖のジャージだけだと思いますけど長袖のジャージが供給されるのっていつになりますか。学園名が決まらない、決まってからじゃないとわかんないかもしれないけど。

ママダ：はい。体操服に関しましては、来年4月開校ということになりますので、新入生、在校生、特に新入生が新たなジャージ体操服を購入されるっていつになるかと思いますが、4月7日。その辺りが入学式、そこを踏まえますと、3月の中旬頃からご販売をしていかないと、はい。

委員長：それはマークが入ってない場合ですよ。マークが入っていない人と入っている人ができちゃうってことですもんね。そうすると。だから、マークが入った状態で、着させたいと思っているので、例えば、学園名が3月に決まったら、背中にマークが入っているジャージは、いつ供給されますか。

ママダ：前回のお話の中で、学校名は議会承認とかっていうことを含めて、学園名に関してはまだ決まっていなからと。それがいつその学園名として決まるのかってというのは、まだ日時もわかってないという状況で、今委員長がおっしゃられたように3月に、仮に何々学園というものが決まれば、そこから生産ということ踏まえると、だいたい縫製から含めて前回申しあげましたように、約5ヶ月、6ヶ月半年近くかかるんですね商品供給まで。そうすると3月ですから、2学期からの秋口からのご販売、ご提供になられるかと思います。

委員長：そういう形でも、メーカーさんとしては大丈夫なのですか。

ママダ：はい、入学からの期間ですね、今の在校生今の1年生から中学校8年生は体操服の着用がありますが、来年の新入生特に新1年生ですね。その間、生徒さんがその期間だけなんらかの体操服に変わるもので学校活動、体育活動していくということ踏まえていただければ、はい。

委員長：わかりました。ありがとうございました。学園名入ってないやつは欲しくないですよ。どうですか。ちゃんと買ったものを、ちょっと遅くてもいいから長ズボン、半袖、ハーフパンツはもう当然購入できると思うんですよ。だけど上着はマークが入ってから買いたい。自分ですよ、少し待ったとしても入ってから買いたいなと思います。はい。それまでは、今までのものを着ていてもいいし、どっかで買ってきた体操服を着ていてもいいので。どうせ5月ぐらいになったら半袖になっちゃうんだから、2学期まで待たたって同じだろうって自分の子供がいたらそう思っちゃう。

委員：ちょっとよろしいですか。事務局の方にお伺いしたいんですけど、以前もお伺いしたと思うんですけども、学園名はいつ決まるんですか。いろいろなご事情があるのはわかるんですけども、そういうのをきちっと決めていかないといけないと思うんで、いつまでに決まるっていうのを明確に提示していただかないとそういうところの話も進まないと思うんですよ。事務局としてというか、市としてはどのようにお考えなんでしょうか。

事務局：学園名ですね、前にもお話ししてもらった通り、研究学園が今年の3月に仮称っていうので決まり、正式なのがつい最近決まりました。

委員：それってちょっとどのようなプロセスがあるかってのは、私はわからないんですけども、正直言って遅いですよ。学校が始まるっていう時には決まってないと、本来おかしいものですよ。なぜそれが決められないのかをちょっと教えていただきたいんですけど。

事務局：今回は学校が開校して学校の子供たちとか皆さんの意見を聞いて決めたいということで、仮称でそのあと、いろんな意見を聞いて正式に決まったというような話を聞いております。

委員長：みんなの意見を聞いてっていうのが、学校もそうだし、ジャージもそうだし、制服もそうだったから、それは一番いいのかもしれないけれども、私たちがここで、腹をくくって、学園名はここで決める。ここで決めます

と。ちょっとご意見流して、みどりの学園の委員の中でちょっと話題にしたんですけれども、色とか言葉の聞いた感じとか、それから地域名とか、そういう学園名じゃなくて、子供にこんなふうに育て欲しいな、こんな人間になって欲しいなっていう理念を学園名にしたらいんじゃないか。ということを提案というか情報の1つとして流してみたいんです。それもありだよなと。それを英文にして、UCLAとかあるじゃないですか。UCLAとかMIT。そういうふうなのが背中に入ったらカッコいいじゃないですか。というふうに、地域としてこんなふうになってもらいたいっていう理念を背中に載っけたらいいんじゃないか、学園名として。というふうな考え方もあるよね。それは今までどこもやってないから、そういうので、他の学校と、学園と違いを出したらいいんじゃないのかなって個人的には思っている。そういうふうに、ここで決めるって腹をくくれるんだったらば、いろいろご意見いただくかもしれないけど。教育委員会と相談する余地はあるんじゃないかなって自分では思っている。そうすると、もしかしたら決定も少しは早くなり、ジャージの上着の縫製も、もうちょっと早くなるのかもしれないって自分では考えています。いかがでしょうか。

委員：えっとこの学園名っていうのはそもそもどうやって決まるんですか。学校名は議会を通して決めるっていう話は伺ってたと思うんですけども、学園名ってどういうプロセスをとって決めていくんですか。研究学園はみんなの意見を聞くということで仮称にしておいて、みんなの話を聞いて決めましたってことなんですけども、ここだけで決めるっていうことも、それは可能ということによろしいですか。

事務局：規則は教育総務課という教育局の違うところが担当で、その中で、学校名が決まった後に学園名を決めているっていう状況があるので、今、先ほどのお話の中でいろんなことがあると思うんですけど、上げられた学園名をこちらでその担当部署なり他の局内の中で話をしてみるしかないって

というのが現状なのと、頭文字っていうのについては思う部分があります。なぜかと言いますと、以前の学園名には皆さんいろんな頭文字がついたローマ字の部分があったと思うんですけど、それを無くして、今の学園名になっていると思うので、ここで1つの学園だけ頭文字にした時に他の学園名との統一性をどうするかっていうので、その辺でどういった判断がつくかなっていうのがあります。規則で変える部分について、準備委員会で意見があったことをお伝えはできるんですけども、それがそのまま通るかっていうのはまた別問題としてちょっととらえていただくしかないかなと思います。

委員長：事務局さんから担当課長に聞いていただいて、それからまた考えたいと思います。一応情報提供なので。うまくご提案いただいたんですけどもちょっとこれは付けられないかなって思うことと、じゃあ何をつけるかっていうと学園ジャージだから、学園名を入れたいので、それについては、ここで考えていいのか、そういったことを事務局の方で担当課に聞いていただくということになりますので、よろしくお願いします。はい、お願いします。

委員：委員長がまとめていただいたのに申し訳ないんですけど、聞いていただく前提として、まず急いで欲しいってところだと思うんですよ。担当部署はそのスタンスで構わないっていう話で多分進んでいて、事務局さんとしても違う部署がやってるんでどうしようもないってところがあるんだと思うんですけど、とにかく間に合っていないので、どこが決めたっていいんですけど、まず時間をもっと早く決めて欲しいのでその部分はちょっと強めに言っていただきたいなと思います。

委員長：本来4月に学園名が入ったジャージがあるのが一番なので、それから学園名もね、何々学園。みどりの南小学校中学校、谷田部南小ってこうなってるのがいいので、それに近づけていく。努力を委員会としても行いた

いし、それから事務局さんにもお手伝いいただければと思います。この件はここまでで、はい。そうすると次はですね、新校舎のことでいいんですか。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら、メーカーさんの方から委員会の方に何かご質問や確認すること等はございますでしょうか。

ママダ：はい、ありがとうございます。1点再確認をさせていただきたいと思うんですが、体操服におかれましては、今のお話ですと、長袖の上のジャージのみに関してマークを施すという認識でよろしいでしょうか。それ以外の半袖シャツ、ハーフパンツ、長ズボンについては現状のものということで、はい。併せて半袖シャツにつきましてはアンケートにあったように、紺のタイプのもので、白のタイプのもので両方用意させていただいて、保護者の方の自由選択ということになるということよろしいですか。はい。わかりました。あと今から学園名が決まってマーキングするということになるんですけども、マーキングを施すにあたってちょっと以前お話あったかと思うんですが、マーキングのカラーというものについては、何かお考えございますでしょうか。例えばバックプリントにするのか、胸マークにするのかっていうのも含めてなんです。以前ちょっと緑色のマークを施したいというご意見があったんですけども、緑に色のマークを施すとなると、縫製をする上で、裁断をした段階でマーキングを施さないと、なかなか色が乗らないんですけれども、他方、今、みどりの学園さんで使ってるような白のものであれば、後加工といたしまして製品が上がった後に、マークを施すということが可能なんです、1色であれば。であれば先ほど委員長がおっしゃったような、生産期間、要するに学園名が決まって、納品するまでの期間にちょっと大幅な違いが生じますので、その辺も含めて、後日ご検討いただけたらと思います。よろしくお願いします。

委員：今のお話で白のものであれば後で加工できるっていうお話だったんですけど

も、これっていうのは実際に着用が始まった後に取りつけることもできる、加工できるんですか。それとも、とりあえず物を作っておいて、その場で後でつけるのが基本なのかどちらですか。後からでもつけられるのかその辺だけちょっと教えてください。

ママダ：後者になります。要するに白以外のマーキングを施すとなると裁断をした段階でマークをつけなければなかなか色が乗らないという現状がありまして、白のものであれば、濃厚色ですので、製品に要するに先ほどおっしゃったように、縫製をして製品ができ上がった段階で、後でマークを施すということが出来ますので、そこでその生産期間に大きな違いが生じます。

委員：それだと、やっぱり1回着ちゃった後に取りつけるのは難しい、加工するのは難しいってことですね。

ママダ：1度着た後に回収して、マーキングを施すというのはちょっと物理的に難しいかと存じます。すいません、先ほどのマークをつけるスケジュール感だけちょっともう一度確認させていただきます。長袖の方は、4月に導入、今回4月に導入するのであれば、こちらの工場に入れる発注は9月20日までに、入れるような形になります。うちの方が9月20日なので、8月末までに確定していただくような形になります。こちらの内部的なところになりますので、そこから加工仕様書とか作りますので、8月末までに確定していただく形になります。その後に長いものが後からプリントして出すということでしたら、通常でしたら、こちらのものって冬物のものになりますので、工場としましては、9月の運動会に合わせて生産するような形になります。個別にいろいろ作っていくわけではなく、上下のセットで作っていきますので、そうしますと、大体その生産に入ってから5か月、6か月。8月あたりで入れていくのが通常なんですけれども、ただ新規になりますと、ちょっとそれにプラス1ヶ月ぐらいかかってしまうよう

なイメージがありますので、やはり先ほど申しましたように、3月末ぐらい辺りが目安としてはなりません。ただここ1、2年、特にちょっと生産状況の方が、ちょっと原材料の供給の方がちょっと不安定なっておりますので、ちょっとその辺が見えないんですが、そこら辺の目安としましては、9月ではまだそれほど、半袖で、ジャージはあまり着ませんので、10月ぐらいに寒くなってきてからの着用というような形が、衣替えじゃないんですけれども、それに近いような形の着用イメージになると思いますので、よろしく願いいたします。

委員長：他にありますか。大丈夫ですか。

ママダ：はい。今の上だけって言ったんですけど、半袖、半ズボンがセットで、ジャージもセットでっていうのが通常なりますので、もしやるのであれば、夏物は4月、長い方を秋みたいのイメージの方が、ちょっとスムーズというか中途半端に下だけ履くってのはほぼありませんので、その方がスムーズだとは思いますが。

委員長：購入の仕方がってことですか。最初は半袖、ハーフパンツは購入しておく。

ママダ：そうです。

委員長：改めて。はい。秋口に間に合うように注文を取って、はい。購入すると、その方がスムーズ。ここイメージ的には一番合ってる販売方法と着用方法だと思います。はい、わかりました。

委員：今メーカーさんから販売のご提案いただいたような形に進めておけば、学園名もある程度ゆとりのある中で決めていけるのかなと。4月、5月、いいとこ5月になれば今暑いんで、多分上を着るってのはそうないのかなと思うので、4月、5月はある程度自由なものを上下長袖については着てもらって、学園名が入った方、完全な形で供給していただく方がいいのかなというふうに思います。ですので例えば小学校のものをそのまま持ち

越して使う。みどりのの方は多分そのまま同じもの使ってると思うので、あれかと思うんですけど、谷田部南の方も小学校のものをそのまま長袖だけ使わせてもらうような形で、秋口に間に合うように、学園名も含めてスケジュールの調整をしてもらって、もうそれはメーカーさんも含め、市の方の体制も含めて、9月に完璧な状態の上下を供給してもらう形でどうでしょうか。

委員長：あのプリントしてもらうためには3月ぐらいには決まっていなくて駄目でしたよね。はい、わかりました。もう今のご意見でスムーズだと思います。事務局さん、よろしいですか。

事務局：はい、事務局です。メーカーさんに再度確認なんですけども、3月末までに名前決めるってなった時っていうのは、プリントできる色っていうのは白ということでよろしいですか。

ママダ：3月末に学園名が決定されるということであれば、秋口のご販売は緑でも白でも大丈夫です。

事務局：はい、ありがとうございます。そうしましたら議事については以上になります。委員長、議事の進行ありがとうございました。そうしましたら、3番、その他ということで、2つほどありまして、1つ目なんですけども、次回の委員会にも関わってくるんですけども、通学路の件について、次回を予定しております。その他ということで1つ目なんですけども通学路の件について、現在みどりの学園と谷田部南小の方には通学路についての要望っていうのを取りまとめていると思うんですけども、こちらの要望の方を最終的にはこちらにあげていただいて、それぞれ担当課の方に依頼をかけるような形になるんですけども、現状、通学路の方って、それぞれの学校はどのような形になっていますでしょうか。

委員：7月頃に通学路の検討しようということだったんですが、あいにく7月がものすごく暑くなってしまったので、ちょっと現地まで行けてないって

いう状況があって、はい。保護者の方々からは、ご意見ちょうだいできる
ようにはしてきたんですが特に今のところ大きなものは上がってきてない
かなと思います。だから、特にここがいけないとか、ここがいいとかって
いうのは、はっきりあるわけではありません。はい。以上です。

事務局：みどりの学園さんの方でまとまってるデータっていうのは、こちらの
事務局の方にデータっていつ頃いただけますでしょうか。

委員：お盆明けくらいには渡せそうです。

事務局：ありがとうございます。谷田部南さんの方では今のところは特に大き
な問題とかはなしっていうことで。

委員：通学の道ができあがっていないので、そもそも通れないので今の状態だ
と通学もできないかなと。

事務局：じゃあ谷田部南小さんの方もそこをちょっと要望として入れていただ
いて、お盆明けまでにもらってもよろしいですかね。そちらの方をもらっ
た上で、こちらでちょっと担当課の方に確認の方をさせていただきますの
で、よろしくお願いします。そうしましたら、その他の2つ目ということ
で新設校の校舎についてということで担当課の方からお話の方させていた
だきたいと思います。先に資料の方、お配りします。

事務局：それでは今、お配りしましたのは7月末現在の状況の写真となっております。
これで説明させていただきます。上の写真が東側の敷地になって
おります。校舎が建つ敷地ということです。左側の建物から中学校の体育
館。次、白い屋根の部分が中学校の武道場。その隣が校舎。間がちょっと
開きまして、小学校の校舎。1番右上が小学校の体育館という並びになっ
ております。今、体育館の方はですね、この茶色に見えているところが鉄
骨の屋根の骨組みという状況になっております。屋根まで上がっている
という状況です。隣の白い屋根が武道場ということで、こちらは平屋建てで
すので、屋根まで上がっている状況です。校舎の方ですが、3階建ての校

舎になるんですけれども、今現在この状態では3階の床の工事をしているところですよ。オレンジ色に見えているところとかが型枠というところですよ。鉄筋を組みまして、コンクリートを流し込んでいくというような工事になっております。併せてグラウンドの方は、下地となる砕石の方を入れている状況です。あと下の方ですね、こちらが体育倉庫、部室になるかと思っております。続きまして下の写真ですが、こちらが西側の敷地で右側から、一番右側の土地がですが、児童クラブの敷地になっております。真ん中ちょっと狭いところがテニスコートで一番左側がサッカーとか、野球ができるようなグラウンドになります。今グラウンドの方は、15メートルの防球ネットの柱が立っていて、ネットの工事なんかも進んでいるような状況の写真になっております。真ん中のテニスコートの下にあるのが、体育倉庫とトイレが入っているところです。こちらグラウンドの方は、ほぼ下地の砕石の方が完了しております、今工事関係者の駐車場スペースとして使っているところもありますが、今後は体育施設の専門業者のグラウンド工事になっていくかなというところですよ。進捗としては以上です。今、工事の方なんですけど、工期としては、当初、来年の1月31日までだったんですけれども、工事が終わってから消防の検査とかいろいろございまして、1ヶ月程度かかるので、工期を延長して、3月11日までになっております。工事の進捗については以上です。

事務局：はい、ありがとうございます。そうしましたら委員会の方から何かご質問等はございますでしょうか。

委員：はい。この学校側の方とグラウンド側の方、あるじゃないですか。この真ん中に道路が通ってたり、例えばこの裏側のゴルフ場に沿ってる道路のところとかで、要望として防犯の分野でですね、例えば裏側だったら、変質者が来やすいとかですね、あと真ん中の道路だとグラウンドから校舎と行き来するときに、一般車が来て事故に巻き込まれる可能性があるとかで、

何か対策をしたいね、なんて話をしてたんですけども、こういったところで例えば車を往来できないようにするとかっていう、何かそういう対策ってあるんでしょうか。

事務局：はい。この真ん中の道路の部分なんですけど、横断する部分には横断歩道を当然つけるようなことで考えてます。子供たちが渡るエリアと校舎の北側がですね、駐車スペースにはなっているんですけども、その出入口は交差しないようになってますので、その辺で安全確保はできるかなというふうに考えてます。横断歩道については現在警察と協議中という形です。

事務局：他にご質問等いかがでしょうか。よろしいですか。

委員：このゴルフ場からのボールっていうのはこの15メートルのネットで大丈夫っていう保障はありますか。何かその話も結構前に出てきたとは思いますが。

事務局：はい。保障と言われるとなかなかちょっと苦しいところはありますがけれども、設計協議の中で、15メートルの防球ネットをつければ大丈夫じゃないかというのは判断の上で設置しているというところがございます。

委員：現状、ボールが飛んでくることってあるんですか。

事務局：はい。そうですね。こちら西側グラウンドの方に関しては、若干飛んできてるといのはあったようです。そういう報告は受けてます。

委員：そうすると実際、安全なんですかっていう話になってきちゃうかなと思うんですけども。

事務局：はい。今はネットがつきましたので、これでどうなるかっていうのはちょっと見ていきたいなと考えてます。

委員：テニスコートの方、こちらにもネットつくんですよね。テニスボールが高速道路の方に行ったりとかしないですかね。

事務局：1面は野球の防球ネットで、他の3面は3メートルのフェンスがつきます。一般的かなと考えてます。ごめんなさい。4メートルです。若干高

めで設定しております。

事務局：はい。他にご質問等はよろしいでしょうか。

委員：駐車場の配置が高速道路側だというお話だったと思うんですけども、その前の道路っていうのが大分狭い道路だと思うんですが、その保護者の送り迎えとかの流れとかっていうのはある程度想定して問題ないっていう判断なんですかね。

事務局：はい。駐車場の出入口なんですけど、北側の道路から出入りする出入口と西側道路からも出入りできるように出入口2ヶ所確保してあります。想定では北側から入って、西側から出てくような形がいいのかなという想定はしています。そうですね校舎に沿った長い駐車場になってます。写真の上の写真を見ていただきますと、左側、西側の道路から校舎の敷地に入ると、車がたくさん通って黒くなっている部分なんですけど、大体これが西側の出入口と一致してるという状況です。

委員：児童クラブの送り迎えについて、児童クラブに駐車場はありますか。それとも学校の駐車場に止めるんでしょうか。

事務局：はい。児童クラブ側でも駐車場は設けてあります。北側が駐車場になっておりまして、児童クラブの建物は南寄りに配置されてます。

事務局：はい。他にご質問等はございますでしょうか。よろしいですか。はい、ありがとうございます。そうしましたら次回の委員会は9月を予定しています。議事の内容としては通学路に関するのと、学校規則に関するものに入っていければと思います。あと保護者組織についても入っていきたいと思います。それではこれにて第13回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を終了したいと思います。皆様、本日はありがとうございました。

4 閉会

